

〔8月〕人口の動き

人口	4,176 人
世帯数	969 世帯
出生	4 人
死亡	2 人
転入	7 人
転出	11 人

(8月末住民登録人口より)

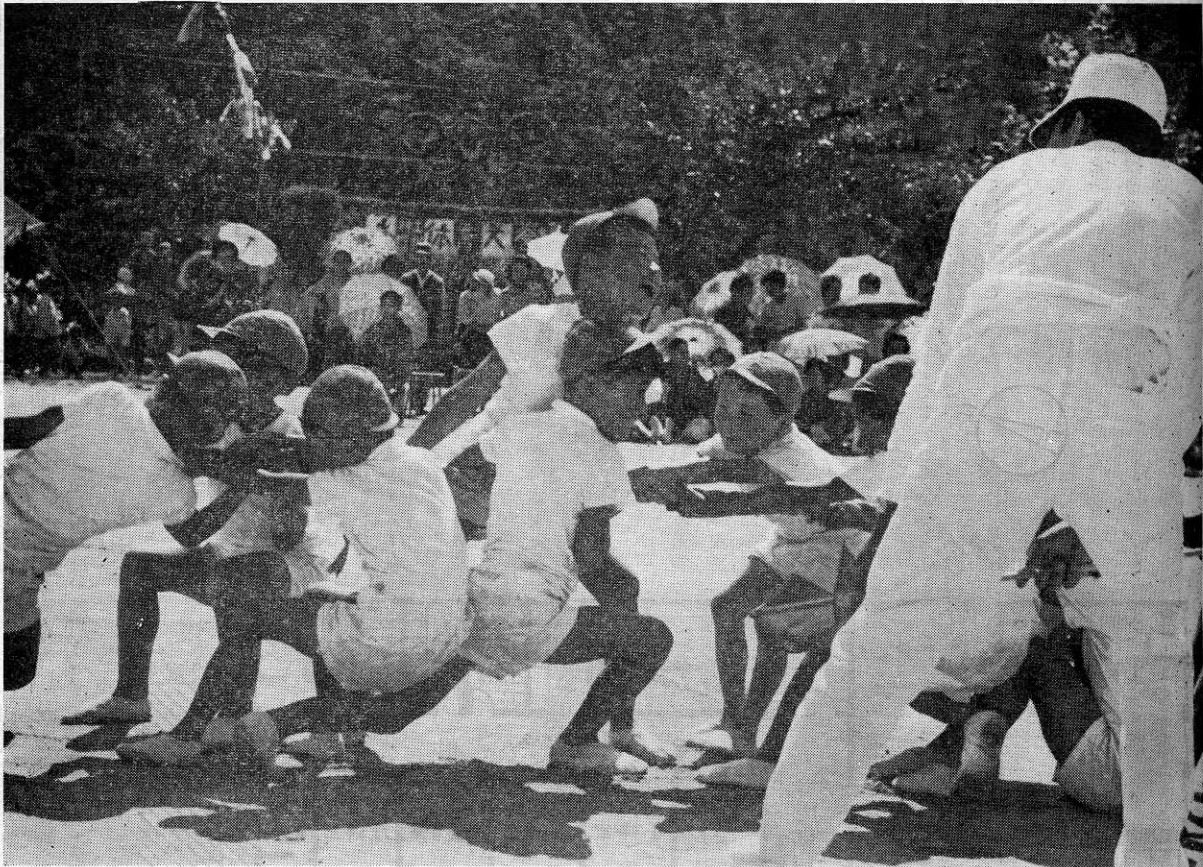
# 広 びがし 報 しらかわ

第105号

発行  
東白川村 公民館  
岐阜県加茂郡東白川村  
TEL(東白川)1番

印刷  
今井印刷所

昭和42年10月1日発行



赤勝て、白勝ての応援で力いっぱい  
の綱引き。秋はスポーツのシーズン、こ  
どもたちに負けないで、スポーツを楽し  
みましょう。

さあ がんばれ

# 母と子の健康を守る

## 待望の「母子センター」建築決まる

健康にして明るい村づくりは私たちの村の目標ですが、その目標にそって東白川病院の施設々備等は充実し、健康管理に大きな役割を果たしています。その病院の旧診療棟のあとに、かねてからの念願だった母子の健康保持増進を図る目的の「母子健康センター」建築の話がこのほど具体化し、いよいよ着工の運びとなりました。

この母子健康センターは、妊産婦、母と乳幼児の保健指導、健康診査、相談指導、助産業務等を行うことにより、母子衛生の向上と増進を図るのが目的です。その内容は次の二部門に分れています

(助産部門)

- (1) 楽しい安全なお産の場所
- (2) すべての児童がすこやかに生まれ、かつ、育てられる基盤をつくる。

(妊産婦の保健指導と健康管理(指導部門))

- (1) 母子保健に関する相談、指導に応じる。
- (2) 妊娠、出産、または育児についての正しい理解を深める。
- (3) 母性および、乳幼児の健康保持増進に努めるため、保健指導を行なう。
- (4) 訪問指導と衛生教育の徹底。
- (5) 主な指導内容

妊産婦検診、乳幼児検診、母

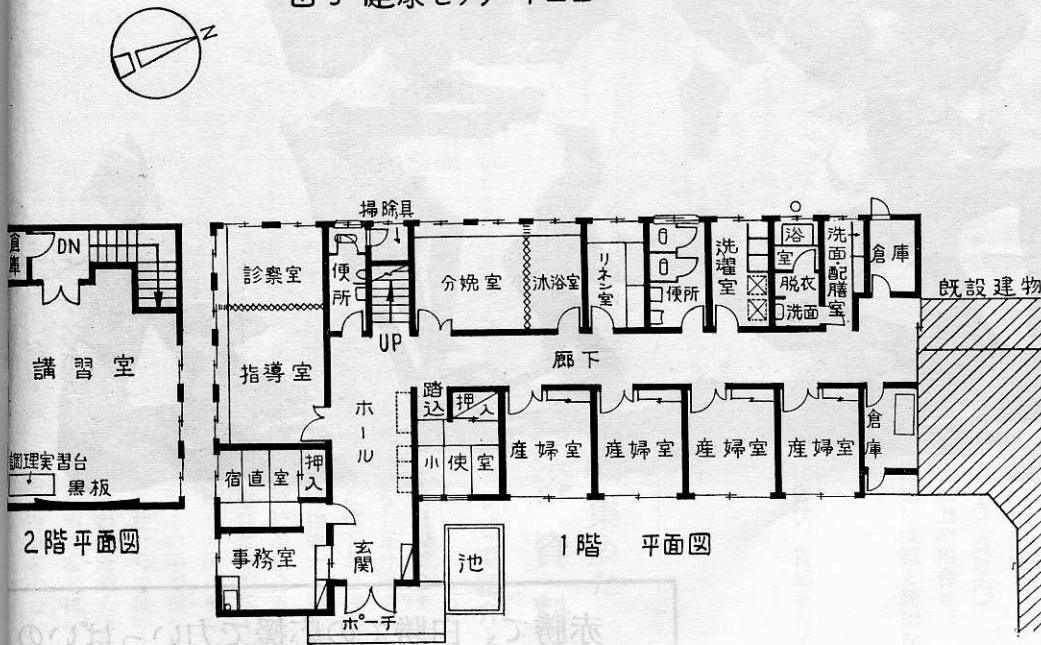
前教育、未熟児指導、栄養指導

以上のように、母子に関するすべてのことが整えられます。とくに私たちの村には産院がなく、隣接市町村等の施設を利用することが多く、不便なことはもちろん、費用も多くなかり、また母子の移送等で健康上の不安も多く、早くから村内の設置が要望されてきました。村でも早くからこの問題をとらあげ、各地の施設等も参考にいろいろ検討を加えてきましたがこのほど、議会でも建築の話がまとまり、国、県の基準に基づいて現在、岐阜市の入江三宅設計事務所

所で設計が行なわれています。この設計が出来あがると入札、着工ということになり、来年の一月には完成することになっています。その建物の、おおまかな規模は木造平屋建、一部二階建、延坪二百

には、事務室、栄養指導室、妊産婦乳幼児指導室、産婦人科検診室等が、また助産部門では、産婦室、四室、分べん室、浴室、洗面所、洗たく室、宿直室、もく浴室等が設けられることになっています。

母子健康センター平面図



### けいじばん

■第一回岐阜県勤労者美術展が開かれます。

県では、勤労者の文化教養の向上をはかり、美術創作の意欲および情操を高めることにより、職場を明るくし、よりよい人間関係をつくり、生産性の向上に資することを目的として、「第一回岐阜県勤労者美術展」を開催します。会期は十一月二十三日から二十六日までの四日間岐阜県内勤労者から次の要領で作品を募集していますからふるって応募して下さい。

#### (出品資格)

県内に在住または勤務する勤労者に限ります。

#### (出品料)

無料

(出品種目および規格)

日本画 六十号以内 額装

洋画 油絵、水彩画とも六十号以内 額装

写真 額または軸

写真 額または軸

写真 額または軸

写真 額または軸

写真 額または軸

写真 額または軸

写真 額または軸

加茂県事務所 十一月十日

(表彰)

優秀な作品に対し知事より賞状、賞品が贈られます。出品者全員に記念品が贈られます

(3)

# おかあさんがんばる

## 出席率好調の中央婦人学級

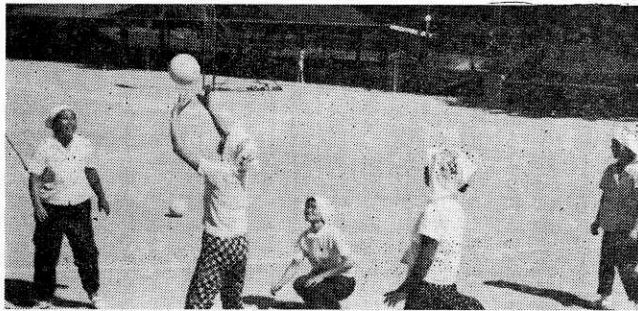
「明るい豊かな人間関係を育てよう」という年間の学習目標のもとで、昭和四十二年度文部省委嘱婦人学級が活発な学習を続けています。

この学級は、部落や支部の婦人会のなから学習意欲に燃える会員七十名を選び定期的に学習を続けていくものです。ことしも、さる九月十三日に行なわれた学級です。すでに四回を終りました。いままで行なわれた学習のすべてが、年間の学習計画に基づき生活に直結したものだけに、出席率も好調です。ここで、さる九月十三日に行なわれた第四回中央婦人学級の学習ぶりを紹介してみましよう。

会場の公民館は午前九時には受付を終った学級生七十名のほかに特別参加の婦人会員たちでいっぱいになりました。まず、係から日程の説明があった後、前回の学級

のとき覚えた民謡の復習、続いて十時から「村政に関心を持とう」という今回の学習主題に基づいて役場から河田村長をはじめ、各係長を招いて、村政の問題について各方面からの説明に耳をかたむけました。午後は「書道グループ」「バレーグループ」の二つに分れたグループ学習が行なわれました。公民館の書道グループは、神土神付の安江正文さんの指導で、全員がすざり、筆を用意して、手本を見ながらいっしょうけんめいおけいこ、四十の手ならいならぬお

「秋空の下でバレーの練習」にはびバレーグループ

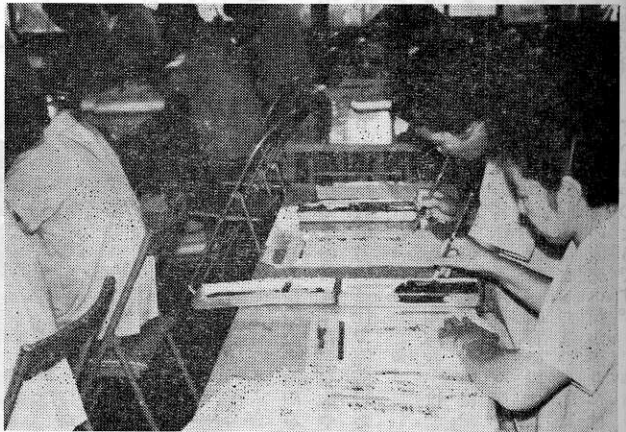


母さんたちの手ならいをお父さんたちに見せてあげたいくらいです。グループ員の一人は、「すぐ役だつことだから、練習にも身が入ります」と話してくれたことから、このグループの会員たちを結びつけている何かがあるようです。一方対象的なバレークラブは神土小学校々庭にネットをはって越原小谷の安江忠治さんのコーチで大はりきり、初秋とはいえ午後の日ざしは強く、汗だくになりながら練習が続けられます。「ワンツウ、スリー」、まっ白なボール

が青空にまいあがり、健康そのものの学級生の顔が印象的でした。このようにして続けられている

中央婦人学級は、これから来年の二月までの毎月、それぞれの学習目標に基づいて続けられていきます。もちろん主体は学級生ですがそのほかの希望者も、その内容に応じてどしどし参加されてもけっこうです。勉強、スポーツ、レクリエーションと、いろいろなことを折りこみながら、この学級の目標「明るい人間関係を育てよう」に向って、ますます発展していくことと思えます。

これからの学習計画は、十一月



「熱心に手ならいを続ける」書道グループ

に「村を知り自分の生活に役立てよう」の主題のもとで、村の中を歩いて見る学習。十二月は「健康な生活を送ろう」の主題で、若い人の体力増進、四十歳すぎの健康管理の学習。一月は「交通道徳と生活」というテーマでの学習が行なわれます。そして、二月には年間のまとめとしての反省会を開き、グループで研究したことを、お互いに発表しあいこれからの生活に役立てるように計画されています。

不明な点は役場内産業建設係までおたずね下さい。

■予防接種および検診が次のとおり行なわれます。

ジフテリア  
百日ぜき  
破傷風  
三種混合

(日時)

第二回 十月十二日

第三回 十一月九日

午後一時半から二時半まで

(場所)

東白川病院

(該当者)

初回に受けた昭和四十一年四月一日から昭和四十二年六月三十日まで生まれた者。

小児マヒ(生ワクチン)

(日時)

十月二十六日

午後一時半から二時半まで

(場所)

東白川病院

(該当者)

昭和四十一年七月一日から昭和四十二年六月三十日までに生まれた者

三歳児検診

(日時)

十一月七日

午後一時から三時まで

(場所)

# いよいよ「全国大会」へ

## 好調青年男子バレーチーム

郡大会、中濃大会と大活躍を続けている私たちの村の青年男子バレーボールチームは、さる九月九日、十日の両日、岐阜市において行なわれた「岐阜県青年祭」へ、中濃地区代表チームとして参加、みごと初優勝を遂げました。

バレーボールの試合は九月十日岐阜北高校のグラウンドで、岐阜県五地区からの精鋭五チームのあいだで争われ、養老、土岐、羽島の代表をそれぞれ連破したものです。小さな村のチームが、大きな市や町の強豪を相手の大熱戦に、多くの人たちから惜しめない拍手がおくられ、大会気分をより以上もりあげたようです。

このバレーボールチームは、村内の若もの十名で編成、連日仕事が終わってから、神土小の校庭で、暗くなるまでの猛練習を続け、選手の実力はもちろん、しつかりま

とまったチームワークも見逃すわけにはまいりません。

県で優勝したこのチームは、来る十一月八日から東京都で開催される、「日本青年祭」に、岐阜県代表チームとしての参加が決定、引き続き、十月一日から猛練習を始めました。村でも、青年バレーチームが、悔いのない試合が行なえるよう、全面的に応援、夜間練習が行なえる、照明装置をこのほど取りつけました。これは、バレーばかりでなく、勤労青少年が昼間の仕事を終り、ゆつくりとスポーツが楽しめるようにということも併せて考えられています。この大会は一度優勝したら二度と参加できないだけに、最後のチャンスといえます。しっかりと、チームワークと、何ものにも負けないファイトで、来る全国大会でも力いっぱい戦って欲しいものです。それでは、晴れの県代表となつたチームのメンバーを紹介しましょう。

安江 勝彦 (越原黒淵)

安江 久義 (越原日向)

河田 一彦 (神土西洞)

大坪 晴生 (越原曲坂)

松岡 一由 (越原日向)

安江 広文 (越原大明神)

安江 竹良 (越原大明神)

安江 純凜 (神土下親田)

安江 保 (神土神付)

安江 誠 (越原大明神)  
村雲 和男 (越原陰地)  
渡辺 昌俊 (白川町水戸野)  
以上のように主将、安江勝彦君を中心にした、がっちり組んだチームワークに、隣の白川町から補強した渡辺君も加わって、より強いチームづくりにいっしょけんめいです。また、村内各地からの激励も多く、先般もある人が手紙でこんなことを寄せてくれました。「村を去る若ものたちが多

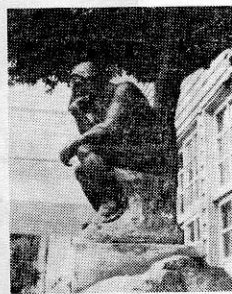
### 故田口純市先生の

### 「謝恩像」が完成

このほど、東白川中学校の正面玄関わきに、写真のようなみごとな記念像がお目見えしました。

この像は、名づけて、「故田口純市先生謝恩像」といい、四十年にわたり、その生涯を子弟の教育にささげられ、とくに、昭和二十三年から十数年、創立当初の校長として、今日の伝統ある東白川中学校の基をつちかわれ、また、神土小学校を、健康優良校日本一に育てあげるなど数々の功績をのこされた故田口純市先生をたたえ、その遺徳を長く後世に伝えようと

く、全国的に後継者問題が心配されているなかで、このようなりっぱな後継者が村にもいて、それも全国大会に出場できるようなチームワークが出来たことは、心強いかぎり、村の人たちこそぞって激励してやりたい。」このように期待されているバレーチームが、単にスポーツだけの問題でなく、明るい村づくりが大きく役立ってほしいものです。



永遠に田口先生をたぐえる「謝恩像」

口恒平さんからの寄附金十万円を基に、かつての教え子たち有志やPTA役員の努力奉仕で完成したものです。

ちなみに、この「謝恩像」は、高さ一・五米の自然石を台座に、ロダンの名作「考える人」を形どったブロンズ像で、教育の場にふさわしい静かなたぐまのうちに子どもたちの未来へ何か語りかけ

東白川病院 (該当者)

昭和三十八年十一月一日から昭和三十九年十月三十一日まで  
でに生まれた者

乳児検診

(日時)

十一月十五日

午後一時から三時まで

(場所)

東白川病院

(該当者)

昭和四十一年十一月一日から昭和四十二年十月三十一日まで  
でに生まれた者

昭和四十二年度村民親睦球技大会が開催されます。

球技を通じて村民相互の親睦を図り、スポーツを理解し、楽しみ、あわせて健康な心身を育てることを目的とした、村民親睦球技大会が次の要領で開催されます。ふるって参加して下さい。

球技種目、期日、会場

十一月三日 神土小、東中

野球、女子バレーボール

十一月五日 神土小、東中

野球、卓球

参加資格

村内に在住、または常時在職する者。

けいじばん

# 自動車を使う人の義務 自賠責保険に加入を

「世界の願い交通安全」——の願いにもかかわらず、交通事故はますます増加の一途をたどり、朝夕の新聞テレビはその暗いニュースばかり伝えていきます。

自動車の普及は、社会経済の進歩のパロメーターともいわれますが、普及台数に比例して交通事故もふえており、この防止は世界の

願いであり、特にその犠牲となつた被害者の救済は、何をいっても真剣にとり組まなければならない問題です。

それには、公共関係機関の根本的な措置が先決でしょうが、運転者あるいは自動車を持つ人の交通道德感の心がけと、万一事故を起した場合の被害者に対する充分

な救済措置がどうしても必要となります。

「高額補償の能力がなければ運転する資格なし」——これは欧米ドライバーの常識ですが、わが国にもそういう時代はやって来ている。私達も万一のときのことを真剣に考える必要があります。

「おれは絶対に事故は起こさないから保険なんか関係ない」という人も不可抗力の事故発生であわてふためくことが必ずあります。それが「いつ」「どこで」は予告してくれません。事故は予告なく

起きます。そんなとき、つね日ごろの備えがあれば一生を台なしにすることは防げるかも知れません

自動車損害賠償保障法は、法規上自動車として扱われるすべての車に強制的に適用されます。保険金もことしの八月から最高三百万円支払われることになりました。

あなたの車は、この自賠責保険に加入してあるでしょうか。もしあなたの車に自賠責保険をかけたしるしのステッカーがはつてなかつたときは、一日も早く自賠責保険に加入するようにしましょう。

## 保険に加入しなければならぬ車

道路運送車両法に規定する自動車及び原動機付自転車（ただし、耕耘機は除きます。）は、必ず自賠責保険に加入しなければなりません。この保険に加入しないで車を運転すると六月以下の懲役又は五万円以下の罰金に処せられることがあります。

## 保険証明書及び保険標章

保険証明書を備えなければ、車を運行することができません。また保険標章（ステッカー）は、車の定められた位置に必ず貼っていないければなりません。違反した場合は、三万円以下の罰金に処せられることがあります。

## 保険期間

保険期間は原則として一年ですが、車種によっては、それ以上の期間にすることもできます。

## 保険金額

①死亡による損害を補償する場合 三百万円  
②死亡にいたるまでの傷害による

## 「自動車損害賠償責任保険」

とはこういうものです

損害を補償する場合 五十万円

③傷害による損害を補てんする場合 五十万円

④傷害による後遺障害の場合 十一万円から三百万円まで

## 保険料の額

車種などによって異なります。参考……農協の自賠責共済の場

合

軽自動車………四、二八〇円  
原動機付自転車……二、六六〇円

## 保険金の支払

①保険金——被保険者からの請求で、被保険者が被害者に対して損害賠償金を支払った場合に、そ

て支払われます。

③仮渡し金——自動車事故を起して他人の生命または身体を害した場合に、その被害者が緊急に金を必要とする場合、被害者が事故証明書と医師の診断書を提出するという簡単な手続きで支払われます。ただし、死亡した人については五十万円、足の骨折には十万円というように一定の金額が定められています。

④内払金——傷害事故の場合、治療が完全に終るまで保険金の請求ができませんので、加害者、被害者とも資金的に大変苦しいこととなります。これを防ぐため、傷害事故に限って内払金を請求することができます。

各種目とも十月二十五日まで指定用紙で行なう。

（用紙は教育委員会まで）

## その他

細部については新聞折り込みしますが、なお不明な点は教育委員会まで、おたずね下さい。

## 自動車税第二期分の納税は十月三十一日まで

昭和四十二年第二期分の自動車税納税通知書が、十月二十一日ごろ納税者のみなさんのものと届きますが、この納期限は十月三十一日ですから、忘れないようにもよりの銀行または役場の窓口へ納めて下さい。

なお、納税通知書に書いてあることがらについて、おわかりにならないこと等があったときは、遠慮なく中濃県税務所にお問い合わせ下さい。

## 木材引取税の期限内申告を

木材引取税の申告納期限は、素材の引取りのあった月の翌月七日です。税率は、引取り価格の百分の二となっていますから忘れないように申告と納税をして下さい。

期限を過ぎると日歩二銭または四銭の延滞金が課せられることとなります。

## けいじばん

# みんなて

## もりあげよう

### — 赤い羽根募金 —

ことしも「赤い羽根共同募金運動」が全国いっせいに始まりました。みんながそろってしあわせにと、お互いがあたたかな心を持ちよる国民たすけあいの姿……それが共同募金運動なのです。

私たちの住んでいる社会には、身よりのない子やお年寄り、からだの不自由な人たちが、多くいます。こうした人たちがすこしでもしあわせになれるよう、みんながあたたかい手をさしのべてあげま

しょう。赤い羽根に寄せられた真心ですこしでも明るい社会をつくりたいものです。村でもこうした運動の手助けをしていますので、みなさんの理解と協力を望んでいます。

昭和三十八年度まで、この村の土地にかかる固定資産税は、旧貸賃価格に一定の倍率を乗じて算定したものを課税標準額（税額を計算する基礎となる額）として課税してまいりました。そのころは全国的にどの市町村でも独自の評価方法を用いて評価しており、評価の方法や評価水準がまちまちで、市町村間の不均衡が大きな問題となっていました。

そこで国では評価方法を統一することに、市町村間の均衡を図ろうとし、近代的な評価の方法によって適正な価額を求め、固定資産税のみでなく、相続税などその他の国税、県税についてもこの価額を統一的に使用しようとしたのです。そうして、国の定めた固定資産評価基準によらなければ、他のいかなる方法も用いではならないことに法律で定めたのです。

この方法に従って、村では昭和三十九年一月一日をもって新しい評価額を決定しました。そ

れは、一年前の昭和三十八年度の価額にくらべて三倍から八倍という高い額になったのです。この価額を課税標準額として直ちに税率をかけて固定資産税を計算すると税負担は一挙に数倍にはね上ることとなり、著るしく増税となることを免れません。そこで法律では、農地（田と畑）については、

この評価のために少なからぬ費用を投入した甲斐がありません。そのため昭和四十一年の春に再び法律の改正があり、昭和四十一年度から毎年一定の率で課税標準額を引きあげ、この額が新評価額と同じ額に達するまで続けることになったのです。

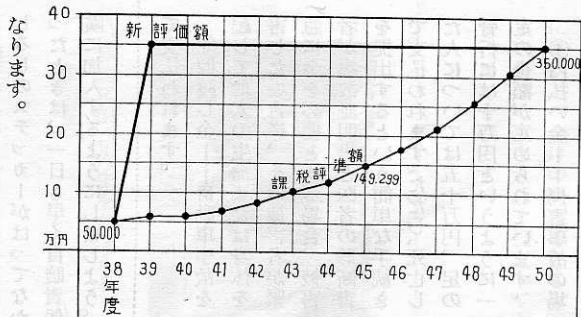
すなわち、昭和三十八年度の価



## こんな負担調整がされている

### 土地にかかる固定資産税

## 税の目 (10)



図は、昭和三十八年度の価額が五万円であった土地が、新しく三十五万円と評価された場合の課税標準額の移り変りを現したものです。このまま税額を計算した場合は、実に高い税額となってしまうのですが、いざれ近く税率改正やその他の必要な措置がとられることでしょう。

## けいじばん

農繁期にはチーズ料理を食べましょう。

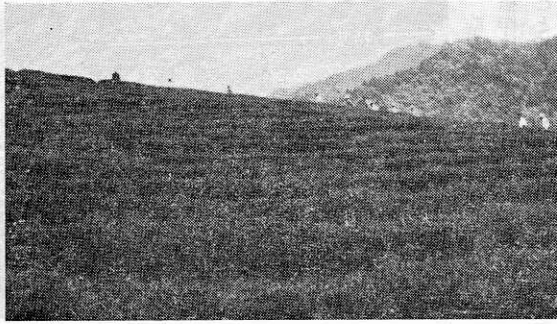
食生活の洋風化、所得水準の向上などで、ここ数年、乳製品の中でもチーズの需要は、著しく伸びています。その生産量も昭和四十一年には二万六千六百一十トンと、大幅に増加して、ついにバターを生産量を追い抜いてしまいました。

ところでチーズとはどんなものでしょうか。  
チーズは原料の牛乳に菌やカビなどの微生物、レンネットなどを加えて、たんぱく質を凝固させた風味の良い、しかも、たんぱく質、脂肪、ビタミン類を多く含む濃厚栄養食品なのです。そのうえわが国で需要の伸びているチーズは、外国のそれとは違い、日本人風に加工されたチーズ、いわゆるプロセスチーズといわれるものですので、米食にはピタタリの風味を有しています。この秋の農繁期には、この濃厚栄養食品で体力をつけましょう。

○チーズの天ぷら  
チーズは五ミリくらいの厚さに切り、薄めの衣をつけ、低い温度で三十秒位揚げろ。  
○ちくわのチーズ詰め  
焼くちくわを二等分して、その穴の中へ、薄切りにしたチーズ

を詰め、焼く。

# 農家の声



昭和36年、新農村事業によって造成された黒濁集団茶園1.5ha、6人の共同経営。

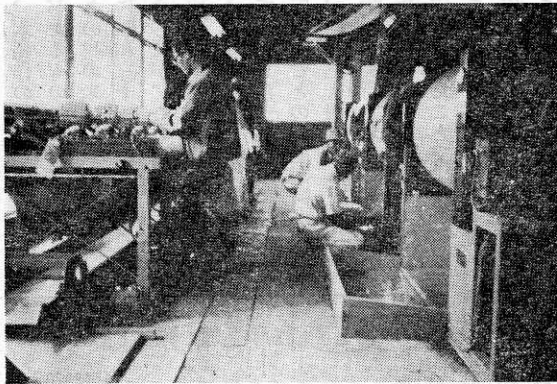
を二十三パーセント上回る好成績でいちだんとその名声をあげましたがその好成績のうらには生産者のたゆまぬ努力があります。また村では農業構造改善事業の基幹作目として取りあげるとともに小規模の茶園造成、植栽に対して補助をするなど積極的に茶業振興をは

東白川の特産  
白川茶は今年の  
販売成績が昨年



かっています。

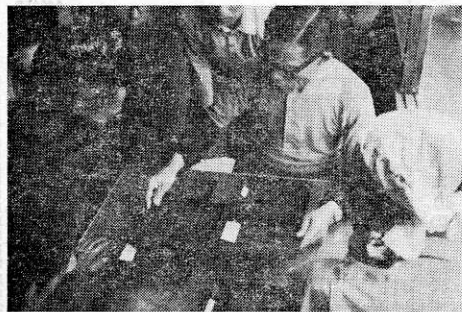
白川茶の特性は茶の主産地である静岡県へ飛ぶように売れている事実からも分るように、質が良いという点にあり関係者の努力もいかにして良いお茶を作るかということに集中しています。このような努力とお茶には最適ともいえない立地条件に恵まれて、伸びゆく茶業の姿をとらえて写真で紹介してみたいと思います。



今年度構造改善事業で建設された五加製茶工場、岐阜県一のオートメーション工場。



女性もまじえて熱心な現地研修会、茶の栽培管理について国立茶業試験場から講師を招いて茶園現地で実物を見ながら研究する。



でき上った荒茶を比較して研究する加工技術講習会のひとま

構造改善の42年度事業として着工される親田地区製茶工場の鍬入れ式、茶業発展を祈りながら……。



白川茶共販所の入村結果発表、高級煎茶として静岡県東京方面へ売れて行く。





表1図 水稲総生産量と珪カル施用、共同防除の関連



昨年はウンカが異常発生をして稲作に大きな打撃をあたえましたことしは六月の干ばつと、それに続く集中豪雨に見まわれましたがこの悪条件を越えて、どうやら全般的には豊作の年となりそうです。近年は気候不順の年が多く必ずしも稲作に適した年とはいえないなかにあつて大幅な減収とならず千トン以上の収量を維持している

第一図では施肥設計による肥料の中でも珪カル(土壌改良資材)の施用と防除延面積に対する収量の関連をあらわしましたが、これを見るとふだんは気付かないでいます。農民生産の基盤である土壌

ことは、水稲作の技術水準の高さをものがるものといえましょう。私たちの村の米の収量は第一図のように昭和三十四年から急に伸びて来ましたが、これにははつきりした裏付けがあります。第一に昭和三十三年に二千二百九十箇所の水田で実施した土壌調査に基づいて水田一枚ごとの施肥設計が樹立され、昭和三十四年から土壌に適した施肥が実行されたこと。第二に農事改良組合単位の完全共同防除が実施されたことです。このふたつのがともにも昭和三十四年から実施されて、東白川村全体の反収を大きく引き上げたわけ

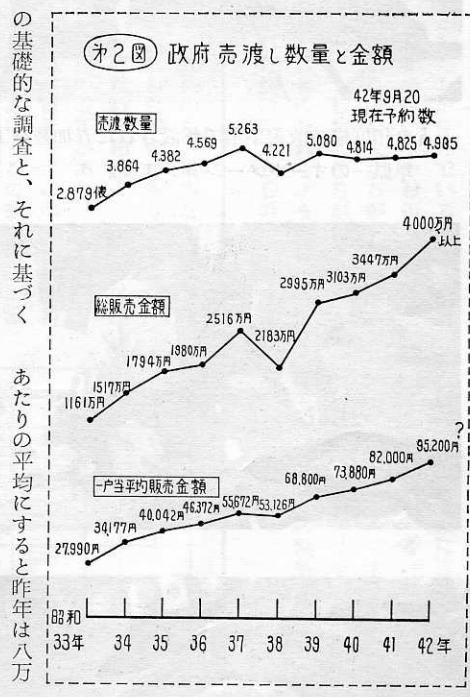
の基礎的な調査と、それに基づいた適切な技術の確立ということがいかに大切かをあらためて認識せざるを得ません。

米のねだんは農民にとつても消費者にとつても重大な関心事ですがその利害は相反しています。例年の米価闘争で、むしろ旗を押し立て、生産者米価の引き上げをはからうとするのも、米は農民にとつては最大の現金収入のものであり、農民自身の生活にかかわることだからです。米価決定のあり方はさておき、私たちの村の水稲の販売状況をながめてみましょう。

売り渡し数量は昭和三十七年の豊作の年に五千二百俵を越えて以来今年は久しぶりに五千俵を大きく上まわりそうです。総販売金額は販売数量の増加と米価の上昇によつてうなぎのぼりになり今年は一千万円の大台に乗ることが予想

とつても重大な関心事です。例年の米価闘争で、むしろ旗を押し立て、生産者米価の引き上げをはからうとするのも、米は農民にとつては最大の現金収入のものであり、農民自身の生活にかかわることだからです。米価決定のあり方はさておき、私たちの村の水稲の販売状況をながめてみましょう。

売り渡し数量は昭和三十七年の豊作の年に五千二百俵を越えて以来今年は久しぶりに五千俵を大きく上まわりそうです。総販売金額は販売数量の増加と米価の上昇によつてうなぎのぼりになり今年は一千万円の大台に乗ることが予想



第3表 地目ごとの農地面積

区分	総面積	水田	普通畑	茶園	桑園	その他
東白川村全体	399.0 ha	207.0 ha	69.0 ha	55.5 ha	66.0 ha	2.0 ha
農家1戸平均	65.4 a	33.4 a	11.3 a	9.1 a	10.8 a	0.8 a

反収の増加は現在村の平均反収が五百五十キロ前後(三七七斗)と他町村にくらべて非常に高い数字を示しており、さらに増加させることはなみだいての努力ではないでしょうが、病害虫防除の徹底と高度の栽培技術の習得によつて六百キロ(四石)まで高めることは可能であると考えられます。

生産費の節減は機械の共同利用をふくめて作業の共同化により効果をあげる場合が多く、さらに適期の計画防除により支出を小さくする努力も大切でしょう。

こうした水田の合理的経営により生ずる余力を、養蚕、茶、和牛などにふりむけて農業収入の増加をはからなければなりません。



# ◇けいさつだより◇ あぶない 無免許の運転

無免許運転で恐いのは、運転が未熟であるというばかりでなく交通法規を知らないということですが、交通事故は、そのほとんどの場合交通のルールに従わなかったことに原因しています。試験を受けて免許を取った人は、交通法規をよく知っているはずですが、それでもついついっかりして交通ルール違反で事故を起こしているの



## 注意・ママの立話

道路交通法では、スピード、追い越し、交差点や踏切の通りかた除行や一時停止の方法など、事故を防ぐためのいろいろな約束ごとが定められています。ところが無免許の人は、運転はどうかできるとしても、こうした道路上で守らなければならないルールにわづか

ないために、事故を起こす危険が、免許を取った人よりも多いわけです。運転免許を取って何年も運転を続けている人でも、事故を起こす場合があります。まして無免許では、いつ警察官に見つかるかも知れないという心理的な不安



最近、いろいろな場所での話し合いがよく行なわれます。そういう話し合いの中へ入って感じるのですが、近ごろは何かしら心を割って話をする事もなくなくなってきたように思いますそれは、その話しあう事がらによってもいろいろその真剣度は変わってくるでしょうが、どうい

もともないます。起こしてからはおそいこういつた事故を防ぐために、無免許運転はせつたいやめましょう。

いなかならだいじようぶなどという考えで、乗りまわすことなどとくに注意したいものです。無免許の事故は罰則も大きく、今後免許を取るときの支障ともなります。明らかに安全な交通ルールで、事故や違反のない村にしましょう。そして、村外へ出る機会も多くなりましたが、なれない交通標識をよくに気をつけて運転したいものです。

なぜでしょう。一つの事がらが出ると、すぐ結論つけてしまうことも原因しているかも知れませんがそれは、いちがいに悪いとはいえませんが、その結論に達するまでの過程のはんすうがなされてい

## もうすぐ解禁 銃は慎重に

ハンターにとって、まちどおしい狩猟は十一月一日に解禁され、二月十五日まで続きます。野山で猟銃のひびきがこだまするの、間近のことです。しかし、年々獲物は減る一方、狩猟をスポーツとして楽しむ人は年々増え、現在県下で許可を受けてある猟銃や、ライフル、空気銃は約十七万丁あります。それと、岐阜県は山間部が多く、したがって猟場に恵まれ

人間が忙しくなり、集合時間はまちまち、集まれば帰ることを考えるといった状態では、とうていゆっくり腰を落ち付けることなどできるはずはありません。そのくせ帰れば、何かあじけなきが残るのは、その話し合いがうまくいかなかったことに原因しているのです。しかたがないと考えるとすればそれだけのことでありますが、私たちは何か急速に進歩してしまつた何ものかに振りまわされてしまつて

期には他県からハンターが押しかけ、それだけに銃の事故が多くなってきています。鳥やけものを殺す力のある銃は、当然その取り扱いを誤れば人の命をそこないます。県下の統計では、猟期の始めと、年末年始に銃の事故が多くなっています。これは、また銃の取り扱ひになれきつていないためや、正月前後の気のゆるみや、ときがほとんどです。起きてしまつてはおそい、こうした銃の事故を防ぐために、ハンターは銃の手入れと同じように、気持の手入れもおこたらないようにしましょう

てしまう力を持っています。したがって家族との話し合いさえできない今日、他人との話し合いがおつくな事は当然のことかも知れません。昔よく行なわれていた隣同志の交流も、ほとんどといつてもいいほどなくなり都会なみの隣は何をする人ぞといった感じになって寂しいかぎりです。 「ちよつと隣まで話に行つてくる。」秋の夜長をテレビばかりですごさないで、人と話をしたりどうでしょう。また、心よく来客を迎え家族ぐるみで話をはずませることは、本当に楽しいことだらうと思ひます。

郷土百年を記念

この秋に『記念大会』を開催

私たちの村を、さらに健康で明るく豊かで住みよい郷土にしようとすることは、村民全部のねがいであり、このねがいを実現させるためには、私たち村民のお互いの自覚と連帯感をたかめ、それぞれの立場において、さらにいっそう努力しなければなりません。

さきの広報でもお知らせしたとおり、ことしは明治から数えて百年目、私たちの村もこの明治、大

正、昭和の三代にわたる世の中のきびしい変せんを乗り越え、今日の姿あることに思いをいたすときわが郷土東白川村に限りない愛着をおぼえます。

一口に百年といいますが、いまこそ、人間一生のうちに再びめぐり来ることのない時代の転換期をむかえたわけで、私たち現代に生きる者として、後世百年に残る新しい歴史のページをみんなで創

りだしたいものです。

加えて、ことしは、戦後の新しい民主主義のもと、現在の地方自治制度が発足してから満二十年、また、六・三制の義務教育が実施されてから満二十年をむかえましたが、その間、村の政治、経済、文化はめざましい発展をとげたといえ、さらに急激な社会情勢の変化にともなう、今後二十年の大計にのぞむ転期でもあるといえます。

そこで、村では、これらの重要な意義をたかめ、まずその手はじめとして、この秋(十一月二十三日の予定)に「記念大会」を開き郷土の直面する今日の課題をひれ

きし、村民意識の高揚につとめるべく、つぎのような文化的なものを中心とした計画をすすめています。

- 郷土誕生百年祭
- ならびに地方自治発足および六・三制教育実施
- 満二十年記念大会計画(案)

▼とき 十一月二十三日  
▼ところ 東白川中学校

内容

- 第一部(午前中) 自治功労者、教育功労者の表彰 各層代表による意見発表
- 第二部(午後) 記念講演(演題未定) 予定講師/名大教授重松先生
- 学習展示発表の部 青年の部(写真、絵画、手芸、活花、郷土史研究)
- 婦人の部(書道、手芸、活花)
- 小・中学生の部(習字、図画、工作)
- 一般の部(写真、絵画、書道、工芸品、その他)

なお、アトラクションとして、音楽鑑賞、舞踊、郷土の芸能紹介なども予定しています。

(村) (章) を募集中

締切りは十月三十一日

村では、ただいまこの郷土百年の記念事業の一環として、豊かで明るい健康な村……郷土東白川を象徴する「村章」の懸賞募集を行なっていますが、現在すでに県内外のあちらこちらから、数十通の応募作品が届いています。締切りは、十月三十一日(当日消印のものまで有効)ですから、村内の皆さんもふるってどしどし

文芸

俳句



神戸卓川 (正樹)

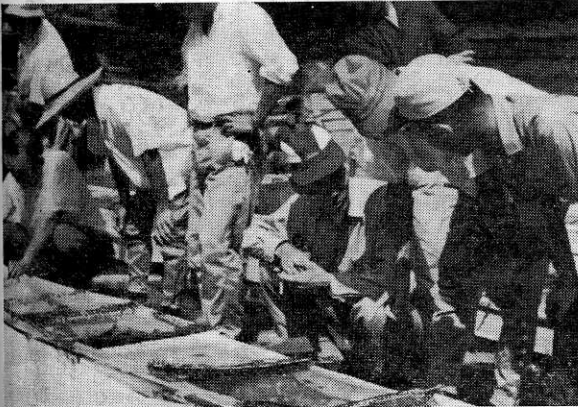
還ると鳴くや法師蟬  
土塊に  
数知れぬ  
蟬すがり鳴く地藏杉

山百合の  
うつつ向きがちに折られけり  
あまさかる  
農にしあれと稲の花

ご応募ください。  
なお、くわしいことは、役場内村章図案募集係までお問合せください。



農繁期ごくろうさまです。空前の大豊作が予想され、取り入れにも力が入ることでしょう。来月は記念事業に関連した記事を集めて見たいと思っております。



大にぎわい 鯉のせり市

「出てこい出てこい池の鯉」の声にきそわれて、神田神社秋まつりでにぎあう役場前で、恒例の鯉のせり市が盛大に開かれました。大小あわせて二百箱あまり、それぞれ自慢の赤白、金、銀、色とりどりの鯉が、秋の日ざしをあびてほんとうに美しい。鯉は恋につながるといって、盲目になった諸氏に穴のあくほど見つめられて、それぞれ村内はもちろん村外にも嫁入りして行きました。朝夕、丹精をこめて育てあげた鯉に、ちよっぴりなごり惜しそうにしている人が印象的でした。